

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「神代鹿島おどり」の復活と継承事業
事業主体 (連絡先)	鹿島おどり保存会
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域造りに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	800,496円

事業内容

▼「神代鹿島おどり」の復活

松尾町三丁目に伝わる「神代鹿島おどり」の復活。
幾度となく大宮諏訪神社のお練り祭りに際し古来より参加してきた「神代鹿島おどり」の内、主軸となる「かきまわし」「ことふれを」復活させた。

▼「神代鹿島おどり」の定期的な練習を開始

最後にお練り祭りに参加したのは平成16年のお練り祭りであったが、今回の「地域発元気づくり支援金事業」で衣装をそろえることができ、定期的な練習を開始する事が出来た。

▼自治会総会での「かきまわし」「ことふれ」の演舞披露

昨年夏期より、多い月で3度、最低でも月一度の練習を重ね(全練習日は12日)、暫く演舞をする事が無かった「かきまわし」「ことふれ」を自治会総会の場で披露する事が出来た。これに際しては地元紙の記者にも取材して戴き、記事を新聞に載せて頂いた。また、演舞とは別に昨年9月に美博にて学習してきた内容をパネルにて発表する事が出来た。

▼演舞衣装の新調

「かきまわし」「ことふれ」の演舞衣装をそれぞれ四着ずつ新調する事が出来た。今迄の衣装は大火後に急遽詠えた衣装であったが、詠えた衣装は「神代鹿島おどり」を演舞するに最適な物となり、今後の事業継承におおきな力となる。

事業効果

①飯田市美術博物館で神代鹿島おどりの歴史等を学び、過去の演舞のビデオテープ・カセットテープ等を見たり聞いたりし、また過去に演舞した事のある自治会の長老の皆様が応援・演舞指導にお越し戴いた。衣装が新調され、揃った衣装で練習する事が出来、神代鹿島おどりの復活をすることができた。今後に記録を残すため、演舞の様子等は全てDVDに移行した。

②演舞者が一名転出したため演舞者が減少したが、新規家族で移住してきた人が快く演舞者に参加戴き結果として演舞者の減少にはならなかった。加えて練習にも積極的に参加して戴き自治会総会での演舞披露も出来た。

③勧誘の成果がでて他の自治会からも見学者がきて積極的に参加戴いた。

自治会総会で衣装をきた演舞を披露したことにより、「神代鹿島おどり」を若者にも見せることができ、今後の担い手となる意識を持ってもらうことができた。また、今後継承されていくためにも、さらに積極的に広報活動を行い人材を集めて行かなくてはならない事が保存会の面々に浸透した。

今後の取り組み

①事業を継承していくために「神代鹿島おどり」を今後継承していくためにお練り祭りの参加は必要不可欠となる。その為にも月一回の練習を必ず行い、先人の踊りの内容をビデオ・テープにしっかりと保存していく。

②お練り祭りへの参加だけでは無く毎年自治会総会には必ず演舞披露する。継続するためには発表の場が必要であり七年に一度のお練り祭りだけでは演者の意識高揚にならない。毎年1回は最低演舞披露する事により若者を取り込んでいきたい。



【12月16日衣装を着た初めての練習】

【目標・ねらい】

- ①「神代鹿島おどり」を復活
- ②「神代鹿島おどり」の継承者の育成
- ③「神代鹿島おどり」の演舞披露により地域の若者が古典芸能に着目・参加してもらう

※自己評価【B】

【理由】

数年ぶりの「神代鹿島おどり」の復活が自治会内で賞賛された。実際に演じた者も非常に遣り甲斐を感じていた。然し担い手の充足が課題として残っているため、今後も継続して広報活動を行う。